

【算数・小4・「面積」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位の間係を理解できる。長方形や正方形の面積を、公式を使って求めることができる。
- (思・判・表) 面積の求め方を考えたり、広さに応じた面積の単位を考えたりしている。
- (学びに向かう力) 面積の大きさを数値化して表すことよさに気づき、いろいろな形の面積を求めようとしている。

ICT活用のポイント

複合図形の面積の求め方を考える場面で、学習支援ソフトを使うことで画面上で図形を切ったり動かしたりして試行錯誤しながら考えることができる。また、その考え方を全体共有することで、自分の考えと友達の考えを比較しながら様々な求め方を理解することができる。

【めあての設定】

複合図形(L字型)の面積を求められるか考える。

L字型の面積の求め方を考えよう

【追究する】

- ① ICT端末を用いて複合図形の面積の求め方を個別に追究する。
- ② 各自の考え方をクラスで共有し、様々な求め方があることを確認する。

【まとめ・振り返り】

学習をまとめ、適応問題に取り組む

事例の概要

- 学習支援ソフトのデジタル教材を使って、複合図形(L字型)を切って分けたり動かしたりして、既習知識を使える形にして面積を求める。
- 個人で考えた面積の求め方をクラスで共有し、様々な考え方があることを確認する。

事例におけるICT活用の場面①

- 複合図形(L字型)の面積の求め方を思考させる際に、視覚的に捉えられ、他者に伝わりやすく説明できるように、学習支援ソフトを使って図形に補助線を引いたり、式や簡単な説明を書いたりしてまとめさせる。
- 児童は、複合図形(L字型)の面積の求め方をまとめ、学習支援ソフトを用いて教師に提出する。

事例におけるICT活用の場面②

- 学習支援ソフトの共有機能を活用し、児童の考えを提示することで、同じ考えや違う考えを比較しながら、様々な面積の求め方があることを確認する。

【算数・小4・「面積」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【活用したソフトや機能】
・学習支援ソフト

児童は、学習支援ソフトで配布された複合図形(L字型)に補助線を引き、面積を求める式を書き込んでいた。学習支援ソフトを使うことで、補助線を何度も引き直したり、補助線を引いて分けた図形を移動したりできるので、いろいろな求め方を考えることができていた。補助線や式は、指で直接画面に書きこむため操作が簡単で、児童は直感的に操作できていた。

【事例におけるICT活用の場面②】



児童は学習支援ソフトの共有機能で、他の児童の面積の求め方を確認する事ができた。児童は自分と同じ考え方を見つけたり、自分と違う考え方を見つけたりして、友達のやり方を理解しようとしていた。自分の考えを提出し終わった児童は友達の考えを見ることで、集中を切らさずに学習に取り組むことができていた。(写真1)

複合図形(L字型)の求め方を発表する場面では、発表者がモニターに映し出された図形を指でさして、詳しく説明することができた。(写真2)